

日本第四紀学会講演要旨集の原稿作成用テンプレート

田中太郎 (〇〇大)・木村花子 (△△研)

Taro TANAKA, Hanako KIMURA: Title in English is written by 10 pt. Times New Roman without the left and right indentation

1. はじめに

これは第四紀学会講演要旨集の原稿の見本です。原稿の作成は、このテンプレートにご自分で準備されたテキストや図等を上書きする、もしくは以下の書き方に沿って原稿を作成することで進めてください。なお、余白、文字の配置、書体、およびフォントサイズ以外は厳密な統一は求めません。この見本は Windows OS 上の Microsoft Word で作成していますが、それ以外の OS やソフトをご使用の場合は、おおよそ同じような体裁になるように作成をお願いいたします。

2. 全体のレイアウト

要旨は **1つの発表につき1ページ**です。

原稿の用紙サイズは A4 で作成しますが、**印刷時には B5 版に縮小**されます。図表を挿入する場合は大きさに注意してください。また、図の縮尺については「何分の1」という表現はせずに必ずスケールを入れて下さい。

タイトルと著者名以外は **2段組み**で、外側の余白は**左右各 25 mm**、**上下各 25 mm**です。英文タイトルと本文の間に**空白行を一行**入れてください。和文著者名の後の所属は簡潔に書いて下さい(例：〇〇大、△△研など)。英文著者名の後ろに所属はいりません。

本テンプレートに示したタイトルの字数・著者構成・図表無しの場合、本文の文字数は約 2050 字となります(各行 21 文字×98 行)。本テンプレートは各章の間にも空白行を入れてありますが、字数によって適宜調整してください。

3. 書体と配置

・**文字のスタイル** 和文タイトルは12ポイント、和文著者名は10ポイントでいずれもゴシック書体で、太字にせず、中央揃えで書いて下さい。サブタイトルがある場合はタイトルの下に改行してタイトルと同じ書体としてください。英文タイトルは Times New Roman の10ポイントとしてください。

本文は10ポイントでゴシック書体とします。小見出しがある場合は10ポイントで太字のゴシック書体として、その頭につける番号等に制限はありません。箇条書きのスタイル(左インデントの幅等)も自由です。

文章中の**強調文字**、**斜字**、**下線**、**上付き下付き**等は適宜使用していただいて問題ありません。行間隔は原稿全体で通常通りの「1行」として下さい。句読点のスタイルは自由です(この文章は「、」と「。」で書いていますが「、」「。」でも問題

ありません)。

・**引用文献** 引用した文献がある場合は、第四紀研究の論文執筆要領に従って表記してください。原稿のスペースが足りない場合は、本テンプレートの最後のように簡略表記とすることも可能です。字体は10ポイントのゴシック書体で見出し(「引用文献」)部分だけ太字とします。

・**テンプレートへの上書きについて** 本テンプレートに他で下書きした原稿を貼りつける場合、コピー元の書式を含んだままで上書きすると見本の書式が変更されてしまいます。上書きは「形式を選択して貼り付け」→「テキスト」(Microsoft Word の例)の順で行い、その後太字等の処理を加えてください。

3. 原稿の提出方法

発表申し込み、および要旨原稿の受付の締め切りは **6月22日(金)**とします。**締め切り日日の厳守**をお願いいたします。完成した原稿のファイルは jaqua2019presen (at) gmail.com へメールの添付ファイルとして提出してください。**PDF形式のファイルは不可**です。送信時のメールの題名は「発表申込_筆頭発表者名」、添付のファイル名は「講演要旨_筆頭発表者名」としてください。

以上の作成要領に関するご質問、および手書き原稿の作成や郵送による投稿の方は上記専用アドレスにお問い合わせください。

★

図.X タイトル(中央揃え)

図がある場合：タイトル、説明文ともにゴシック9pt、説明文は両端揃えの配置。その他の調整は自由。使用する図を上★印に上書きペーストし、オブジェクトのサイズを調整(縮小等)すると比較的簡単に挿入できます。2段組みを跨いだ幅広サイズの図の使用も可です。

引用文献：佐藤・鈴木(2014)第四紀研究, 99, 10-20. Sato & Suzuki (2014) *Quatern. Res.* 99, 30-40.